



広報・出版委員会

「広報・出版委員会」

1. 構成員

1) 委員

小松 浩子（委員長、慶應義塾大学）

佐藤 潤（東京医療保健大学）、馬場 みちえ（福岡大学）、能見 清子（創価大学）

小山 友里江（慶應義塾大学）、川本 祐子（東京医科歯科大学）

2) 協力者 なし

2. 趣旨

日本看護系大学協議会の活動を基盤として、看護に関する情報を会員校ならびに社会に向けて広報することで、看護学教育の発展を支える。

3. 活動経過

今年度は社会に向けた広報戦略を検討し、高校（約 8900 校）・高校生にむけて情報発信をするために、看護系大学に特化した進学情報誌「NURSE+（ナースプラス）2017 年度版」に JANPU の広告を掲載した（資料 1）。リーフレット「日本は優秀な看護職を必要としている」～大学で看護を学ぼう～の内容について、大学で看護を学ぶことのメリットとして、大学卒業後に多様な職種を目指せることや活躍の場が広がっていることを特徴づけた改訂を行った（資料 2）。また、ホームページを通じて本協議会の活動ならびに大学における看護教育についての理解が深まるよう、高校生及び高校の教員を対象としたコンテンツの充実を図った。特にスマホサイトのユーザビリティの向上を目指し、スマホで検索・閲覧しやすいようにコンテンツを整理した（資料 3）。ユニフォームから大学を紹介するというコンセプトのザ・データベース・オブ JANPU (DOJ) については、登録校を増やす仕組みを検討した（資料 4）。また、JANPU の紹介ポスターと、You Tube 「私、看護大学を志望します！Ⅰ～Ⅲ」やホームページを収録した DVD を作成し、オープンキャンパスグッズとして活用してもらえるよう準備を進めた。また、国内外に広く JANPU を周知してもらうために、ホームページの英語版の拡充を推進した（資料 5）。会員校メニューの内容を見直し、会員校が利用しやすい情報を掲載したコンテンツを検討した。

4. 今後の課題

ザ・データベース・オブ JANPU (DOJ) の登録数および閲覧数を増やすために、気軽にアクセス（情報の発信・受信）できる看護系大学情報のプラットフォームとしての整備を進める。JANPU You Tube チャンネルの視聴状況の評価を行い、新たな動画の企画を推進する。DOJ、スマホ版公式サイト開始後の定期的な評価が必要であるため、DOJ のアクセス解析を行い、会員校のメリットを視覚化できるようにする。また、DOJ 登録依頼を簡便にする方法を検討する。会員校限定ページに掲載すべき情報の整理やニーズ調査を進める。さらに、加盟大学、社会人向けの広報活動として、大学院への進学や高度実践看護師の実際現場の活躍などを紹介する内容を検討する。

5. 資料

1) 看護系大学に特化した進学情報誌「NURSE+（ナースプラス）2017 年度版」JANPU 活動内容掲載原稿と広告

<http://www.allow-web.com/nurse-plus/>

2) リーフレット「日本は優秀な看護職を必要としている」～大学で看護を学ぼう～

http://www.janpu.or.jp/download/pdf/janpu_kango.pdf

- 3) ホームページのスマートフォン対応
スマートフォンで次の URL にアクセス <http://www.janpu.or.jp/>
または、パソコン上でブラウザを縦長にサイズ変更するとスマートフォン版のページが表示される
- 4) ザ・データベース・オブ JANPU (DOJ)
<https://www.janpu.or.jp/db/>
- 5) ホームページの英語版
<http://www.janpu.or.jp/en/>
代表理事の挨拶、各委員会の活動内容、高度実践看護師教育課程の概要と基準について掲載